

関係各位

公益財団法人日本体操協会
専務理事 山本 宜史

世界アンチ・ドーピング機関(WADA)の教育モジュール ALPHA の修了について

平素より日本体操界の発展にご尽力を賜り、厚く御礼を申し上げます。
さて、このたび世界体操連盟(FIG)より、全選手は世界アンチ・ドーピング機関(WADA)の教育モジュールALPHAを修了し、合格しなければならないと通達がございました。ALPHAとはWADAにより開発されたEラーニングプログラムです。

つきましては、国際大会派遣の可能性のある選手は、早急にオンライン上でALPHAを修了のうえ、合格認定書を**5月12日(日)**までに当会事務局までご提出をお願い申し上げます。

<オンライン受講>

<https://adel.wada-ama.org/>

通信状況の安定した場所で、上記URLにアクセスしてください。

※英語表記になっている場合は右上の「[Languages](#)」より「日本語(Japanese)」を選んでください。

↓

画面下にある「JA」というタブをクリック(日本語で受講が可能となります)

↓

「**レッスンを開始する**」をクリック

↓

「目次1~4」~「決定1~4」~「結果」まで順次受講する。

操作方法等は画面上で指示があるのでよく確認すること。

※一項目が終わるごとにホームボタンを押すと項目選択のページに戻ります。

↓

画面右下に出てくる「ドーピングに対する意識調査」をクリック

アンケートの後テストが開始します。テストの結果が出たら「終了」ボタンをクリック

↓

ホームに戻り「認定証をダウンロードする」をクリック

※80%以上の点数で認定証をダウンロードできるようになります。

【認定書の送信先】 taiso@jpn-gym.or.jp

ファイル名は**氏名(MAG/WAG/RG/TRA)_ALPHA** としてください。

例:TAISO_TARO(MAG)_ALPHA

重要！！

2019年より、認定書を提出しない選手には国際体操連盟からライセンスが発行されません。
ライセンスが有効でない選手はFIG主催大会への参加が不可能となりますのでご注意ください。

以上